

## 第1号報告

# 令和7年度 事業計画

### 1. 通 常 総 会

令和7年(2025年)5月23日(金) アルカディア市ヶ谷において、第66回通常総会を開催する。

### 2. 理 事 会

通常理事会は、原則として年10回(8月, 2月を除く毎月), 臨時理事会を(5月)開催する。

### 3. 委 員 会

[常設委員会]

常設委員会は以下のとおりで、委員会は必要に応じてその都度開催する。

- ・ 総務委員会
- ・ プレストレストコンクリート工学会賞選考委員会
- ・ 会誌編集委員会
- ・ ナショナルレポート編集委員会
- ・ シンポジウム実行委員会
- ・ PCアーカイブス委員会
- ・ PC技術規準委員会
- ・ PC鋼材委員会
- ・ 公募研究委員会
- ・ PC技術講習会委員会
- ・ PC技士委員会
- ・ コンクリート構造診断士委員会
- ・ 国際委員会

### 4. 調査・研究・資料収集事業

#### (1) 規準作成

##### 1) PC技術規準委員会

委員会を2回、幹事会を4回開催し、講習会開催方法の検討や、本委員会所管の小委員会の運営管理を行うとともに、新たな規準作成に向けた小委員会の立ち上げなどについて検討を行う。規準作成に関して、「PC構造物の3次元解析による部材設計ガイドライン作成小委員会」は、検討期間を延長して、ガイドラインを作成するための検討を行う。昨年度、新たに設置した「プレキャストPC床版接合部の性能評価小委員会」は、数多くの工法が開発されているプレキャストPC床版接合部の要求性能を整理し、その評価方法および設計方法をまとめるべく検討を行う。また、今年度より新たに設置した「プレキャストセグメント橋継ぎ目部の性能評価小委員会」が活動を開始する。

## 2) P C鋼材委員会

P C鋼材に関連するCO<sub>2</sub>削減や低炭素化に関する取り組み、風力発電など再生可能エネルギー分野におけるP C構造物の活用、既設P C構造物の補修・補強事例について情報収集を行うと共に、国内外の学会・委員会等に参画する委員からの情報提供に基づき、基規準類への本委員会意見の反映を図る。また、欧州や米国をはじめとするP C技術の先進国において基規準類の整備、管理強化等の様々な施策が実施されている中で、グラウトされたP Cケーブルの耐久性の確保が課題となっている。国内も同様であり、既設P C構造物の保全や長寿命化が喫緊の課題であるため、委員会では特に、過去のP C鋼材規格、仕様、技術開発、施工方法に焦点をあてて情報収集を行い、P Cケーブルの品質向上や品質確保に関して討議を行う。

## (2) 公募研究

### 1) 洋上風力発電に用いるプレストレストコンクリート製浮体の実施検討委員会

令和5年3月に国土交通省よりコンクリート製浮体式洋上風力発電施設の設計施工ガイドラインが公表されたが、実際にコンクリート製浮体を実現するためには、その製造システムおよび製品やパーツの供給体制などの技術的、社会的課題がある。本委員会では、昨年に引き続き、国内外の関連する案件の技術調査や現場見学を行い、解決すべき課題を明らかにすることを目的として活動を行う。

### 2) 「歴史的にみたプレストレストコンクリート建築と技術」続編 編集委員会

2000年以降、P C建築を紹介する刊行物が少なく、設計者・施工者・専門業者へのP C建築物の設計や施工に関する技術の伝承が滞っている。本委員会では、昨年に引き続き、1955年以降の告示変遷・代表的P C建築物・技術などについてまとめるとともに、あわせて2000年以降の代表的なP C建築物を紹介する標記刊行物を発刊する予定である。

## (3) 受託研究

### 1) 既設ポストテンション橋のP C鋼材調査および補修・補強に関する検討委員会

本学会では、「既設ポストテンション橋のP Cグラウト問題対応委員会（委員長 宮川豊章）」（平成24～28年3月）において、その技術水準レベルを明確に示し、P Cグラウト充填調査方法、P C鋼材破断調査方法、P Cグラウト再注入工法について「既設ポストテンション橋のP C鋼材調査および補修・補強指針（案）」（平成28年9月）を制定した。その後、実橋での環境・P Cグラウト充填状況等の調査も進み、P C鋼材腐食促進試験等も実施され、P Cグラウト再注入工法も各社から提案され、実施工が始まったところである。本委員会では、昨年に引き続き、実橋のP C鋼材の状態やP Cグラウト充填状況を考慮したP Cグラウト調査やP C鋼材破断調査箇所の選定方法、P Cグラウト再注入工法における品質保証方法等について、統一的な指針を制定するため、指針作成WG、非破壊調査WGおよびP Cグラウト再注入WGを組織して検討を行う。

#### (4) 国際活動

##### 1) *fib* 関連活動

*fib*の総会に参加し、*fib*の公式会員組織としての投票権を行使するとともに、行事の企画、運営、調査研究活動に参画する。*fib*シンポジウムに参加し、国際的な情報発信、情報収集を行う。*fib*の各種委員会（Commissionならびにそれらの下のTask Groupなど）に参加し、調査研究活動に参画するとともに、本学会員への情報提供を行う。*fib*コンGRES2030の日本開催に対して、日本コンクリート工学会（J C I）と合同の*fib*コンGRES2030準備委員会にて、開催準備に関する検討を行う。

##### 2) 国内外への情報発信

P C工学会英文ホームページの更新を定期的に行う。規準類の英語化ならびに海外への普及についての検討を行う。P C技術講習会の国際関係のテキスト執筆と講演を行う。P Cシンポジウムにおける海外からの特別講演の準備、運営を行う。

##### 3) 国際交流

P Cシンポジウムにおける海外からの特別講演者によるセミナーなどの企画を検討する。海外学協会との交流、連携を推進する。

#### (5) 資料収集

##### 1) P Cアーカイブス委員会

本工学会ホームページ「アーカイブス」に新たに追加した、アーカイブ的資料閲覧コーナー、検索システム、情報提供や「会員ログイン」に追加したP Cアーカイブス会員特典コーナーなどのシステム監修を行い、改修、改良を検討する。*fib*の「(仮)20世紀における各国でのプレストレストコンクリート技術の発展に関する報告書」作成活動に参画し報告書のDraft版作成の準備を始める。アーカイブスを継続的に運営するために、メンテナンスの仕組みを構築し、収集整理したデータを適時追加する。P C技術講習会に対しては、P Cアーカイブの原稿執筆と講演を行う。名誉会員へのインタビューは、引き続き実施し、原稿作成、会誌投稿の企画を順次進めていくため、委員会1回、幹事会2回、各WGおよび合同WGを合計6回程度開催する予定である。

#### 5. 会誌等発刊事業

##### (1) 会誌

会誌は一般号および特定課題による特集号を、会誌編集委員会にて企画・編集を行い、計年6回発行する。第67巻4号、6号、第68巻2号は特集号とする。67巻4号は「建築特集」とする。

## (2) ナショナルレポート

2026年6月15日（月）～6月19日（金）にリスボン（ポルトガル）で開催される第7回fibコンgresにに向けて、日本を代表するコンクリート構造物を広く海外へ紹介するための「National Report of Japan on Structural Concrete -The 7th International fib Congress 2026」をJ C Iと共同で編纂するため、ナショナルレポート編集委員会を開催する。

## 6. 講習会等事業

### (1) P C技術講習会

第52回P C技術講習会は、昨年に引き続きオンライン形式（オンデマンド配信期間 令和7年6月2日（月）～6月23日（月））で開催する予定である。

### (2) プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム

「第34回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」は、令和7年10月23日（木）・24日（金）の2日間にわたり、「フェニックス・プラザ」（福井県福井市）において開催する。実行委員会および各WGは、開催の準備、運営を行う。

その後、第35回シンポジウムは「別府国際コンベンションセンター／ビーコンプラザ」（大分県別府市）において令和8年10月22日（木）・23日（金）に開催する予定であり、その企画を行う。また、令和9年に開催を予定する第36回シンポジウムの開催場所について、シンポジウム実行委員会で選定する。

## 7. 資格認定事業

### (1) プレストレストコンクリート技士資格制度

P C技士委員会、各小委員会を開催して、講習会、試験から登録、研修に至るまでの諸準備を行う。

#### 1) プレストレストコンクリート技士試験講習会

標記講習会を令和7年9月1日（月）から9月29日（月）までの期間、オンライン形式（オンデマンド配信）にて開催する。

#### 2) プレストレストコンクリート技士試験

標記試験を令和7年10月19日（日）に東京：芝浦工業大学（豊洲キャンパス）、大阪：国民會館武藤記念ホール、福岡：天神ビルの3会場において実施する。

#### 3) プレストレストコンクリート技士の登録

プレストレストコンクリート技士試験合格者の登録、ならびに登録有効期間（4年間）満了となる資格者の申請により登録更新を行う。また、登録失効者に対しては、講習会の受講によって再登録を行う。

(2) コンクリート構造診断士資格制度

コンクリート構造診断士委員会、各小委員会を開催して、講習会、試験から登録、研修に至るまでの諸準備を行う。

1) コンクリート構造診断技術講習（eラーニング）

コンクリート構造診断士試験に先立ち、Web上でのeラーニング講習（任意）を行う。  
eラーニングでの講習期間は、令和7年3月3日から7月11日である。

2) コンクリート構造診断士試験

標記試験を令和7年7月13日（日）に東京：芝浦工業大学（豊洲キャンパス）、大阪：YMCA国際文化センター、福岡：天神ビルの3会場において実施する。

3) コンクリート構造診断士の登録

コンクリート構造診断士試験合格者および資格更新者の登録を行う。今年度は、2021年度（令和3年度）登録者の資格更新研修を実施する。研修方法は、Web上でのeラーニング講習を行う。

8. 表彰事業

(1) プレストレストコンクリート工学会賞授与

プレストレストコンクリート工学会賞選考委員会にて、論文賞、作品賞、技術開発賞および施工技術賞の授賞候補を募集、選考し、通常総会にて授与する。

(2) シンポジウム優秀講演賞授与

シンポジウムの講演の中から特に優れた講演に対し、シンポジウム実行委員会にて候補者を選考し、シンポジウム閉会式にて授与する。

(3) シンポジウムポスター表彰

シンポジウムの参加者を広く募集するための広報活動に活用することを目的として、シンポジウム実行委員会にてポスターを募集、選考し、表彰する。